

# CSFへの対応について

令和2年11月9日  
農 林 水 産 部

## 1 発生状況

### (1) 飼養豚

- ・平成30年9月の岐阜県での発生以降、群馬県や沖縄県など全国に感染が拡大。
- ・これまで11府県、59例102農場等で発生、171千頭が殺処分。

### (2) 野生イノシシ

- ・岐阜県を中心に東西へ感染が拡大。
- ・東側は100km/年と急速に拡大し、4月に新潟県、9月には福島県で東北初の確認。
- ・来年には本県への拡大も想定。

## 2 近隣県でのワクチン接種状況

- ・ワクチン接種推奨地域に指定～福島県:8/31、宮城県・山形県:9/11
- ・ワクチンの接種開始～福島県:9/14、山形県:9/29、宮城県:10/13 ※R3.1終了予定

## 3 県の対策

### (1) ワクチン接種について国へ要望

- ・ワクチン接種推奨地域以外でも希望する県で接種可能とすること。
- ・円滑なワクチン接種に向けてワクチンを十分に確保・提供すること。

### (2) 養豚場における侵入防止対策の徹底指導

- ・他県でのCSF発生状況に関する情報提供と注意喚起。
- ・飼養衛生管理基準の遵守の徹底。  
(異常豚の早期発見、早期通報、農場に入る人や車両等の消毒の徹底 他)

### (3) 防護柵設置の進捗状況(9/30現在) ※家畜伝染病予防法で義務化

- ・設置済:37 施工中・発注済:41 計78農場/83農場(廃業を除く)
- ・未着手の5農場は、遅くとも年度内には設置完了見込み。

### (4) ワクチン接種プログラムの策定

- ・ワクチン接種が可能となった場合に備え、接種計画を策定
- |        |                       |
|--------|-----------------------|
| 初      | 回～対象:266千頭(全飼養豚)      |
|        | 接種:44人(県職員21、民間獣医師23) |
|        | 期間:約2ヶ月               |
| 2回目以降～ | 対象:初回接種後に生まれた子豚(50日齢) |

## 4 市町村への協力依頼事項

県内でワクチン接種が開始される場合、又は、飼養豚でCSFが確認された場合は、次の対応をお願いしたい。

- ・CSFワクチン接種の際の現場補助等の人的支援
- ・市町村道における通行車両の消毒ポイントの設置
- ・殺処分した豚の埋却場所の確保
- ・発生農場における防疫措置(豚の埋却、豚舎の消毒等)への人的支援